

※各校のメンバー表は  
春季県大会時のものです。

**Data**

- 責任教師／田中信幸 ●監督／吉田洸二
- ノッカー／菊池徹 ●記録員／秋冬冬美
- 主将／菊池海斗
- 部員数／3年(17)、2年(19)、1年(32)

**Member**

背番号	ポジション	氏名	学年	出身中
1	投	山口大輔	3	鳥取東
2	捕	笠原雅矢	3	長若
3	一	富山将希	3	徳島
4	二	滝澤虎太郎	1	東山田
5	三	稲葉皇介	3	富竹
6	遊	菊池海斗	3	富士岡
7	左	上原進	3	富士
8	中	金城義	3	府中第七
9	右	渡邊拓夢	3	河口湖南
10	補	大城哲平	3	中央
11	補	深澤恒平	1	城南
12	補	加々美啓太	2	河口湖南
13	補	井上新太郎	2	秩父第二
14	補	青野岳史	1	中川
15	補	石橋優稀	1	富里
16	補	折目拓海	3	高谷
17	補	佐藤誉起	2	城東
18	補	牛奥凌輔	3	上条
19	補	千葉稜河	1	宮前平
20	補	萩倉大和	3	富士岡
21	補	岩本俊一	3	深沢



左のエース・山口大輔。写真は春大会の時のもの



右のエース・上原進



菊池海斗主将  
「目標は甲子園ベスト8。監督の故郷で開催される国体に『山梨学院』のユニフォームを着て出場したい」と甲子園出場の先に目標を握る

**山梨学院**

甲府市  
Area

春季県大会準優勝、関東大会優勝校

関東大会覇者は夏も大本命！  
甲子園、そして国体出場の夢を実現に

春季関東高校野球大会へ県内準優勝で駒を進めた山学ナインは、各都県代表の強豪ひしめくトーナメントを頂点まで登り詰め、山梨の高校野球レベルの高さを示した。凱旋した選手らの達成感に満ちた表情は、昨年春から指揮を執る吉田洸二監督が目指す「のびのびとした明るいチーム」を印象付けた。

この春の関東優勝は選手たちに全国で戦えるという自信をもたらし、同時にチームの課題を再認識させたという。

「バッティングは上出来」とキャプテン・菊池海斗(3年)が話せば、「うちの選手たちの選球眼は一流」と監督もナインの打者センスを評価。その一方で守備・走塁のミスが目立ち、修正が必要と2人とも総括した。

同校は今年3月、春のセンバツ甲子園に出場した。結果は初戦敗退。左腕のエース・山口大輔は昨秋に見せた制球力抜群のピッチングに遠く及ばず、味方の守備の乱れと自らの悪送球で一挙に大量得点を奪われ、そのまま試合をひっくり返すことは出来なかった。この敗戦からメンタル強化と守備力アップを課題にトレーニングを積んで臨んだ春季大会だった。

甲子園出場の鍵を握るのは、山口大輔(3年)、上原進(3年)の左右のエース。エースとして選手らの精神的支柱でありながら試合もしっかり作ることができる」と監督が期待を寄せる二人の安定感が、夏を勝ち切るための条件となるだろう。

吉田監督は、「甲子園で上位に進出し今年10月に故郷・長崎で開催される国体に山梨のユニフォームを着て凱旋したい」とキッパリ。

現在、効果的なウエイトトレーニングで根幹からパワーアップを図っている山梨学院野球部。春の関東ナンパーワンに甘んじることなく高みを目指す。夏の大会に向け、視界は良好だ。



吉田洸二監督